

主な出来事

【内政】

- 7日、カンジ・ダカール全国投票調査委員会会長は、地方高等評議会選挙の暫定結果において、与党「希望のための結束(BBY)」連合が80議席中68議席を獲得した旨発表した。
- 28日、内務・公安省は、10月4日よりECOWAS 共通の生体認証技術を導入した身分証明書の製造及び発給を開始する旨発表した。

【外政】

- 4日から5日にかけて、サル大統領は中国の杭州において開催されたG20杭州サミットに「アフリカ開発のための新パートナーシップ(NEPAD)」議長として出席した。
- 16日、サル大統領はカナダのモントリオールで開催されたエイズ・結核・マラリア対策基金(グローバル・ファンド)の第5次増資会合に出席した。
- 19日からニューヨークにおいて開催された第71回国連総会にサル大統領及びビンジャイ外相が出席した。

【経済】

- 20日、北原駐セネガル日本国大使及びバ経済・財政・計画大臣は、平成28年度対セネガル無償資金協力「ダカール港第3埠頭改修計画」(20億CFAフラン)及び「食糧援助」(2億CFAフラン)に関する交換公文に署名を行った。

【内政】

- 7日、カンジ・ダカール全国投票調査委員会会長は、4日に実施された地方高等評議会選挙の暫定結果において、与党「希望のための結束(BBY)」連合が80議席中68議席を獲得した旨発表した。(Le Soleil 他)(往電第1416号)。

-15日、野党過半数が参加する政治同盟「セネガル防衛戦線(Front Pour la défense du Sénégal(Fds) / Mankoo Wattu Senegal)」が発足し、行動規定が採択され、10月14日に国内外で大規模な反サル大統領抗議デモを実施する旨発表された。本同盟には、Pds, Rewmi, Aj/Pads, Grand Parti 等が参加しており、月交替で各政党代表者が調整役を務める(16日 L'Observateur)。

-28日、内務・公安省は、10月4日よりECOWAS 共通の生体認証技術を導入した身分証明書の製造及び発給を開始する旨発表した。新しい身分証明書は選挙民身分証明書としても利用される予定(29日 le Soleil)。

-28日、シェキ・ハジブ・スマレ UEMOA 委員会議長(元セネガル首相)はサル大統領に表敬を行い、本年12月1日付の UEMOA 委員会議長の退職希望届を提出した(29日 le Soleil)。

-29日、カバ法務省はジガンショールにおける控訴院において、刑法及び刑事訴訟法の改正の一環で、ダ

カールの大審裁判所にテロ対策局が新設される旨発表した(30日 Sud Quotidien)。

## 【外政】

### G20 杭州サミット

- 4日から5日にかけて、中国の杭州において開催された G20 杭州サミットにサル・セネガル大統領は「アフリカ開発のための新パートナーシップ(NEPAD)」議長として出席し、エネルギー協力に関する G20 の行動原則の迅速な実行を呼びかけた(Le Soleil 他)(往電第 1368 号)。

### セネガル・パキスタン関係

- 6日、サル大統領は、G20 杭州サミット出席の翌日、パキスタンの首都イスラマバードを公式訪問し、シャリーフ首相と首脳会談を行った。(7日 Le Soleil)。

### 第3回ダカール国際フォーラム

-13日、パリにおいて、ンジャイ外相及びブル・ドリアン仏国防大臣が、アフリカの平和と安全に関するダカール国際フォーラム開催のための資金管理に係る合意に署名を行った(14日 Le Soleil)(往電第 1401 号)。

### エイズ・結核・マラリア対策基金第5次増資会合

-16日、サル大統領は、カナダのモントリオールで開催されたエイズ・結核・マラリア対策基金(グローバル・ファンド)の第5次増資会合に出席し、本基金の3年間で約130億ドルに上る援助への感謝の意を表した他、保健は平和及び安全保障と同様に重要な分野である旨述べた(16日 Le Soleil 他)。

### 第71回国連総会

-18日、ンジャイ外相はニューヨークにおいて国連総会の枠外で開催されたイスラム協力機構(OCI)の会合に出席した(21日 Le Quotidien)。

-サル大統領は19日の難民と移民に関するサミット及び21日のシリア情勢に関する安保理ハイレベル会合に出席した。20日、同大統領は、国連総会において一般討論演説を行い、テロの脅威を背景に増加するイスラモフォビアに対する憂慮の念を表明した他、国際の平和を脅かす問題への国連の平等な取組、安保理改革の必要性、パリ協定の促進及びアフリカにおける投資の促進を呼びかけた(21日 Le Soleil 他)(往電第 1450 号、第 1470 号及び第 1471 号)。

-20日、国連総会の枠外で開催された ECOWAS ハイレベル会合に出席したサル大統領は、ギニアビサウの政治危機の解決のための協力の意思を再び示した他、9月10日にギニアビサウ主要政党間において署名されたコンセンサスに基づく包括的な新政府の樹立に向けた基本合意の実行を呼びかけた(21日 Le Soleil)。

-サル大統領はブハリ・ナイジェリア大統領と会談を行い、特に西アフリカにおける平和及び安全保障について協議を行った他、アスマニ・コモロ大統領と二国間関係の強化に向けて会談を行った(29日 Le Soleil)。

## セネガル・仏関係

-22 日から 23 日にかけて、ヴァルス仏首相はセネガルを訪問した。本訪問において、クール・モマ・サールにおける 10 万㎡の飲料水ダム(610 億 FCFA)の建設及びビニョナ並びにリシャル・トルにおける農業及び農産業分野の高等職業訓練施設 2 校の設立(1,311 億 FCFA)に関する署名が行われた他、1,000 人の雇用創出が見込まれるクラブ・メッドの第二段の開業が発表された(24 日・25 日 Le Soleil 他)(往電第 1537 号)。

## セネガル・韓国関係

-27 日から 29 日にかけて、リン韓国副外務大臣がセネガルを訪問し、シセ外務・在外セネガル人省事務次官と二国間関係の強化について協議を行った(10 月 1 日・2 日 Le Soleil)。

## **【経済】**

-14 日、コートジボワールの首都アビジャンにおいて、世界開発銀行の行政審議会は、2016 年から 2020 年にかけて、セネガルに対して 140 億ドルの支援を行う旨コミュニケにて発表した。同コミュニケによれば、1970 年に開始した同銀行による対セネガル支援の総額は 12,000 億 FCFA となる(16 日 Le Soleil)。

-17 日、ダカールにおいて開催された「セネガル新興計画(PSE)」における若者の雇用に関する講演に古沢国際通貨基金(IMF)副専務理事が出席し、セネガルは地理的に高いポテンシャルを有しているものの、人口及び経済発展のハンドリングにおいて改善が必要である旨述べた(19 日 Le Soleil)。

-20 日、ジョヌ首相は、バ経済・財政・計画大臣及びゲイ石油機構(PETROSEN)総裁同席の下、記者会見を行い、最新の石油及びガスの国内生産量を発表し、今後すべての石油契約の内容を公開するとともに、石油契約に係る虚実の報道に対して刑罰が課せられる可能性が有る旨述べた(21 日 Populaire)。

-20 日、北原在セネガル日本国大使及びバ経済・財政・計画大臣は、平成28年度対セネガル無償資金協力「ダカール港第 3 埠頭改修計画」(20 億 FCFA)及び「食糧援助」(2 億 FCFA)に関する交換公文に署名を行った。ダカール港第 3 埠頭改修は荷役施設のマリへ向けた貨物輸送システムが強化される(21 日 Le Soleil 他)(往電 1447 号)。

-27 日、農業分野における共同レビューの予測報告(RCSA)による 2015 年のセネガルにおける収穫結果が発表された。2015 年の栽培面積は 1,564ha(2014 年は 1126ha)、米栽培面積 237ha(2014 年は 206ha)、トウモロコシは前年比 36%(過去 5 年平均比 46%)、稗は前年比 17%(過去 5 年平均 61%)。灌漑米の生産高は、セネガル川流域は 7 t/ha、アナンベ地方は 5.5t/ha。陸稲は 2.5t/ha となった(28 日 APS)。

-29 日、アフリカ経済を分析する世界銀行の報告「アフリカの鼓動」の最新版が発表された。本報告によると、サブサハラ・アフリカの経済成長率が、2015 年の 3.0%から 2016 年は平均 1.6%まで減速しているが、セネガルは良好な経済成長を維持している。経済の多様化の促進を目指した政策による天然資源への依

存率の減少、エネルギー、インフラ、農業及び人的資本分野における投資の強化等が本成長を後押しした（30日 Le Soleil）。

**【その他】**

-20日、ダカール市ルブス刑務所において、囚人が朝食後に留置所に戻ることを拒否したため、警察との間で衝突が生じ、警察は囚人の暴動を抑えるため発砲した。これにより囚人約41名が負傷し、消防隊及び緊急医療センター(SAMU)の救急車により救出された他、囚人1名が死亡した(20日 SENEWEB 他)(往電第1440号)。

(了)